

神奈川病院だより

基本理念 私たちは地域の皆様から信頼される病院づくりに努め常に新しく良質な医療の提供をします

年頭所感

院長 根本 悦夫

新年明けましておめでとうございます。

神奈川病院では、昨年春、一般病棟の更新が国立病院機構本部から承認され、秋から設計作業に入っております。ここ数年、地震が頻発しておりますが、これまでのような耐震構造の病院では大地震への対応が全く不十分であることが、熊本大地震で明らかになりました。東海あるいは東南海大地震が危惧されており、災害時に医療機能を維持するためには、免震構造での病院が是非とも必要であり、免震構造の新病棟を設計しております。新病棟は4階建て、病棟構成としては、一般病棟は地域包括ケア病棟の50床を含む180床とし、結核病棟は現在の50床から30床に減らしてユニット化致します。更新計画の中には、透析部門とリハビリテーション部門が含まれています。重症心身障害児（者）病棟120床は3年前に竣工しており、これで病棟部門の全てが新築更新となります。330床の新病棟に生まれ変わります。現在、基本設計の段階ですが、5月からは実施設計に入ります。より詳しい設計図を書き上げ、年内には建設作業に入りたいと思っております。現在の病棟は、築40年を数え、老朽化が激しく、たびたび古い、狭い、汚いなどのご指摘を受けておりました。所々、雨漏りも目立ちます。新病棟竣工は平成31年5月を予定しており、完成までは2年以上かかることとなりますが、快適で暖かみのある機能的な病棟にしたいと考えており、皆様には、それまで今しばらくのご辛抱をお願い致します。



また、既にスタートしている「在宅医療ICTシステム構築モデル事業」をさらに充実・拡大させ、医師不足・看護師不足はありますが、限られた医療資源を活用し、地域医療支援病院の名に恥じない医療を展開していきたいと考えております。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

※ICT：Information and Communication Technology（情報通信技術）

第51号 目次

○年頭所感・・・・・・・・・・・・・1	○クリスマス・コンサートとイルミネーション・・・・・・・・・・6
○秦野市市民の日イベントに参加して・・・・・・2	○「かかりつけ医」制度のお知らせ・・・・・・・・7
○国立総合医学会に参加して・・・・・・・・・4	○各科診療担当医表・・・・・・・・・・・・・8
○国立病院総合医学会（院内掲示・報告会）・・5	

放射線科では、昨年と同様に骨塩定量検査(以下、「骨密度測定検査」とします。)を実施し、今年は250名の方が検査を受けに来てくれました。検査開始時間の前から列ができ、終了までほぼ途切れることなく大盛況でした。『昨年も検査を受けました。』と声をかけてくれる方もいて、骨密度に対して意識の高い市民の方が大勢おられることを実感できました。休む間もなく大変ではありましたが、とても充実した時間を過ごせました。

骨密度に関して簡単にご説明させていただきますと、骨密度は骨の強度にかかわるもので、骨量は学童期から思春期にかけて増加します。20歳前後でピークを迎え、女性においては50歳前後で減少し始めます。これは閉経に伴う女性ホルモン(エストロゲン)の枯渇によるもので、閉経後10年ほどの間に骨量は著しく減少し、骨量減少あるいは骨粗鬆症へと進行します。骨粗鬆症は、生活機能や生活の質(QOL)を低下させるだけでなく、長期的には骨折の有無にかかわらず死亡リスクを有意に上昇させます。まずは定期的に検査を受け、骨量減少の予防や骨折リスクの減少に繋げていきましょう。

さて今回、骨密度測定検査を実施するにあたり設置した機器は超音波を用いていました。人間ドックや検診の現場で骨粗鬆症のスクリーニング検査として用いられている機器です。エックス線を使用しないため、特別な部屋が必要なく、小児や妊婦においても測定可能です。その一方で、湿度の影響を受けることや測定誤差が大きいことが短所として挙げられます。骨粗鬆症の診断には、測定精度が高いエックス線を用いた機器で測定を行います。当院放射線科でもエックス線を用いた機器で検査を実施しています。検査にかかる時間は2分程度です。結果もすぐにお渡しできます。これまでに骨密度測定検査を受けたことのない方はもちろん、今回の検査で基準値よりも値が低かった方、前年と比べて差が大きかった方は、是非当院へエックス線での骨密度測定検査を受けにいらして下さい。お待ちしております。

《ご来院の際には、かかりつけ医からの紹介状をお持ちいただけますととてもありがたいです。》



今回初めて、リハビリテーション科の代表として市民の日のイベントに参加させていただきました。

リハビリテーション科では、バルーンアートの製作と風船渡しを行いました。よく他のイベントやテレビなどで見ていたバルーンアートをまさか自分がやることになるとは思いませんでしたので、ちゃんとできるのかという不安と緊張がありました。さらに、子供達がわたしの作ったもので本当に喜んでくれるのかどうか、という不安もありました。



しかし、バルーンアートの経験がある先輩スタッフの方たちに一から丁寧に教えていただき、いくつかの「形」のつくり方を習得して、次第にスムーズに作製できるようになりました。

イベントが始まり、子供達がバルーンアートや風船を見つけると笑顔で駆け寄ってくれる姿や、バルーンアートを目の前で作ると「すごい！」とキラキラとした目で褒めてくれること、また、手渡すと笑顔で「ありがとう」と言ってくれる子供達の姿を見ると、自然とこちらも笑顔になれて、とても嬉しい気持ちになりました。

普段はなかなか子供達と触れ合う機会がない中で、このようなイベントを通してたくさんの子供達と触れ合い、その笑顔が見られたこと、さらに、バルーンアートという貴重な経験をさせていただいたことはとても嬉しく、ありがたく思います。また、他職種や地域の方達との関わりも増えたように思えます。普段仕事の話しかしない方や、なかなか関わることの無い事務の方ともいろいろな話ことができました。

市民の日イベントに参加させていただきありがとうございました。このような機会がありましたら、今後もぜひ参加していきたいと思っています。





当院の参加者で記念撮影、パチッ！

第 昨年11月11日と12日の二日間にわたって沖縄で開催された、第70回国立病院総合医学会に参加してまいりました。神奈川病院からは院長を始めとする多くのドクターや看護師、コメディカルの方々から事務職員まで様々な職種の参加があり、総勢24名となりました。会場是那覇市内から車で30分ほどの場所で、ホテルやイベント会場が複数集結して学会発表に適したコンパクトな施設配置となっており、さらにすぐ側には海に面した

白砂の浜辺もあり、強い日差しの下で自然豊かな碧い海を一望することができました。また、島国の特徴を生かした食べ物ややぎ汁などここでしか食べられないようなお店も用意周到に適当な場所に準備されていて、会場全体がとても活気づいていました。

発表には、パワーポイントなどを使用して行われる口演形式のものと、ポスターを用いるものの二つがありました。そのどちらの形式での発表も、写真やイラストを使用するなど、多くの人にその内容が分かりやすく伝わるようにと発表者による工夫がいろいろ盛り込まれ、見学者だけでなく発表者同士も勉強し、刺激を受け合う雰囲気のある会場でした。我が企画課からは、「ポイント制度の導入について」というテーマでポスター発表を行いました。思いのほか観衆が多く集まり、さらに緊張感が増しましたが、一方で我々のやる気も増幅し発表にも熱が入りました。そうした中で、各病院が競いあって発表した結果、当院職員の中から「ベストポスター賞」の受賞者が複数出るという嬉しいハプニングも生まれました。

そして1日目の発表終了後には、学会の主催者により参加者全体での交流会が催され、ダイナミックな演奏を聴かせてもらいながら美味しい食事を楽しみました。そこでは、皆別の場所で働いているためにこれまで話す機会がもてなかった方とも交流することができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。感謝しています。また、この交流会とは別に、神奈川病院から参加した職員が集まり、沖縄の地で初めて病院懇親会も開催されました。そこでは、誰もが沖縄の家庭料理を堪能し、沖縄三味線の演奏に耳を傾け、すでに発表が終わった方は疲れを癒し、翌日に発表を控える方は英気を養い、さらには職員間の親睦を深めることができました。今回の国病沖縄学会では、他の病院から多くの刺激を受け、また沖縄を満喫するという、とても貴重な経験をすることができ感動の連続でした。

温かく病院から送り出してくださった諸先輩の方々に、あらためて感謝しています。そして、また来年も一般職員の方が参加して貴重な体験をされることを願っています。

本当に有り難うございました。



企画課発表の「ポイント制度の導入について」ポスター



栄養管理室発表の「かるしおレシビの導入」ポスター



発表者の説明に聞き入る様子



会場施設から眺めた沖縄の海

国立病院機構総合医学会（院内掲示・報告会）

事務部長 水谷 義彦

昨年11月の沖縄学会には、全ての職種によるポスター発表等による参加ができました。

他院からの作品も力作揃いの中、当院出展作品12のうち、幸運にも、4つも座長・ポスター賞を獲得できました。勤務等で学会に参加できなかった職員にも学会発表の雰囲気を感じとってもらい、全職員による今後の学会出展への意欲向上と、出展者への労いを込めて、病棟通路において院内掲示により作品展示の報告会を開催しました。

今回は、沖縄学会長から頂いた表彰状や発表風景写真も併せて展示し、職員や患者・家族の皆様にもご覧頂けるようにして、大変好評でした。

学会前に行った院内の予行演習会における先輩職員からの優しい“ダメ出し”と厳しい助言・指導により、洗練された発表会となりました。皆さんに感謝です。来年もより多くの職員参加、出展数となりますよう、頑張っていきたいと思います。



病棟通路に掲示されたポスター風景

クリスマス・コンサートとイルミネーション

管理課庶務班長 牧 賢樹

年末の恒例行事となった『クリスマス・コンサート』を12月22日17時頃から外来ホールにて、ボランティアの方々の協力を得て、開催することができました。

今年は趣向を凝らして、地元のフルート奏者による四重奏でした。サプライズで病院職員によるおじさんサンタも飛び入り参加し、患者さんやそのご家族達と一緒に賛美歌を歌い、楽しく厳かな時間をすごして、皆さんの健康を祈りました。

また、昨年に引き続き、クリスマスに合わせて正面玄関前と病院中庭にイルミネーションを飾り、ムードを盛り上げました。



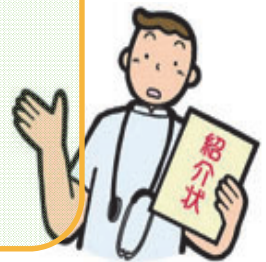
「かかりつけ医」制度のお知らせ

当院を受診される患者様へ

当院は地域医療支援病院に指定されております。

このため、

- ・急性期が過ぎて症状が安定された患者様
- ・慢性期に該当される患者様におかれましては
原則として「かかりつけ医」における受診をご案内
させていただきます。（逆紹介といいます）



日頃は、身近な町のお医者さんである「かかりつけ医」において
投薬や診察、健康や病気に関する相談をしつつ、より詳しい検査や
治療が必要になった時は「かかりつけ医」からスムーズに
『紹介』を受けられるように当院と相互連携の関係を築いて
います。

お気を付けください



**@ 当院へ受診する際は、
ぜひ『紹介状』をお持ちください**

ご不明な点などございましたら、院内に地域医療連携室を設置して
おりますのでご相談ください。

専門のスタッフから丁寧にご説明させていただきます。

**なお、緊急時や入院が必要な際には、従来どおり当院において
対応させていただきますのでご安心ください。**



神奈川病院長

各科診療担当医表

平成29年1月1日現在

科別		曜日	月	火	水	木	金	科別		曜日	月	火	水	木	金
一般外来系	内科	総合内科	小林	小林	小林	荒木	前島	一般外来系	小児科		萬木(晋)	萬木(暁)	佐藤	渡辺	萬木(晋)
		腎臓内科	前島		前島	前島	前島				石井	(9:00~)	渡辺	(9:00~)	石井
		消化器内科	後町	鈴木(俊)	〔予〕中島	後町					〔予〕渡辺	〔予〕萬木(晋)	〔予〕萬木(暁)	〔予〕渡辺	〔予〕渡辺
		糖尿病内科			(13:30~)						(14:00~)	(13:30~)	(14:00~)	予防接種	健診
		循環器内科	内田	吉田	松崎	森木	森木				〔予〕佐藤	〔予〕萬木(暁)	〔予〕渡辺	(14:00~)	
		呼吸器内科	野村(秀)	堀之内		田中					(14:30~)				
		神経内科		〔予〕湯谷							〔第2のみ 15:00~〕				
	外科	脳神経外科	木村	齋藤	堀口	河野			小児科	小児科	〔予〕平林				
		外科		鈴木(俊)		〔予〕櫻井				小児アレルギー科	〔予〕松崎				
		消化器外科								小児外科【第2、4のみ】	(13:00~)				
		呼吸器外科			根本		杉浦			心療内科	(14:00~)				
					橋詰		藤本								
		整形外科	数枝木	山本	野尻	太田	数枝木			乳腺外来		鈴木(育)			
			(9:00~)	(装具)	(9:00~)	(9:30~)	(9:00~)			てんかん外来【第4のみ】				〔予〕杉山	
	泌尿器科	泌尿器科	山本	川上			川上			睡眠時無呼吸外来		〔予〕荒木			(10:00~11:00)
		皮膚科	浅沼		野村(尚)		古市			救命救急科					
										成育心身医療外来	〔予〕松崎				
											(14:00~)				

※担当医表に時間の記載がある日は、記載されている時間内の診療となりますのでご確認をお願いいたします。

発行責任者：根本 悦夫 編集責任者：加藤 浩二・菊池 邦子 編集：広報委員会



独立行政法人 国立病院機構 神奈川病院

〒257-8585 神奈川県秦野市落合666-1
TEL 0463-81-1771 FAX 0463-82-7533
URL <http://www.kanagawa-hosp.org/>

